



かさおか3月



近年は地球温暖化の影響とされる記録的な豪雨が全国各地で観測され、河川の氾濫や土石流などの被害は更に大規模化して私たちの生活を脅かしています。「晴れの国おかやま」がアピールされ、私たちの郷土は比較的自然災害が少なく住みやすいと言われてきましたが、昨年7月には未曾有の豪雨災害に見舞われ、無残な爪痕がいまだ各所に残っています。

一方では、今後30年以内の発生確率が60～80%とされる南海トラフ地震、笠岡市の予想最大震度は6弱（立っていることが困難になる。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。耐震性の低い木造住宅には倒壊するものがある。）過度に心配することはありませんが、必要な知識を学びながら対策を怠ってはいけません。私たちに出来ることは「巨大地震が起こること」を「忘れないで備えること」であり、住宅の耐震補強や家具の固定など身の回りの対策を進めることが、自分自身や家族を守ることにつながります。日頃から防災意識を持って、非常持出品などを準備しておきましょう。



- 3月13日(水)18:30～
平成31年第3回総務部会を予定
- 3月24日(日)10:00～
平成31年第2回役員会を予定

『笠岡地区まちづくり協議会』
事務所：笠岡市笠岡2627番地
電話：63-5949
Fax：75-0101
E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp
開館日：月・水・金曜日の
14時～17時まで

今月は、「わが町笠岡」の歴史について、文献をもとにご紹介してみたいと思います。

「笠岡の干拓地」

笠岡の平地は、隅田川及び宮地川などによって、背後の山から流れ出た土砂の堆積によってできたと考えられている。しかし、洲崎とか浜田とかいう地名の現位置から推して、徐々に干拓によって土地造成が行われ、それが次第に埋め立てられて宅地化していったのではないかと思われるが、残念ながら史料としては何も見えない。

江戸時代においては、たびたび新田検地が行われた記録はあるが、ほとんどが「築出」と称する埋め立てによる宅地造成で、干拓地はあまりないようである。以下、埋立地も加えて、記録に残る笠岡の新田造成を述べてみよう。

☆未(ひつじ)新田

安永四年(一七七五)未の年の十二月に検地された未新田の面積は、屋敷九反四畝一二歩、畑二町五反三畝三步、高二四石五斗八合であった。いまの住吉町あたりである。申請は明和八年七月、七兵衛外一六人の出願で、港関係の間屋・仲買人一六二名が連名しているのは、笠岡港に非常に関係の深い干拓地造成であったからであろう。申請理由に村内困窮者の救済と、火災等の場合の非常用食糧の確保をうたっているが、同時に「胡(えびす)冥加銀」の上納を願っている。胡冥加銀というのは、翌明和九年から笠岡港にかけられた新税であって、茶運上、綿運上と合わせて三品運上と呼ばれ、明治にいたるまで笠岡港関係者を苦しめたものである。もともと胡冥加銀というのは、笠岡港口の胡神社に対する賽銭という意味で、古くから笠岡港へ出入りする船から取引高に応じて船宿老に納め、この金を港の維持費に充てる慣行があった。(中略)出願から五年、未新田は完成したが笠岡港の改良にも大いに役立ったであろう。古城山麓から笠岡港の中へ「コ」の字型に突き出されたのは、港にあたる風波を防ぐ効果も計算

されてのことであつたと思われる。いまの笠岡駅舎を中心に線路の北側の線が港の物揚場として栄え、盛んに物資の出入りがあつたことはいまでも土蔵造りの家も多く残していることでもわかる。その港も明治二十三、四年ごろ山陽鉄道が敷かれるときに埋め立てられて、鉄道用地になつてしまった。

未新田は明治の末ごろに古城山の土をもつて埋められ、市街化が進んだが、その堤防の外側に新しい笠岡港の施設が整えられていった。昭和三十七年には、国道二

号線が古城山をくりぬいてこの新田を大きく横切った。いま未新田は他の新田と違って、干拓地として生まれた名残は何もないが、船宿老

といい、胡冥加銀といい、笠岡港にまつわる歴史とともにまことに興味深いものがある。



【参考文献】 平成二年三月発行

笠岡湾干拓事業完工記念 定本「笠岡地方干拓史」

【学校の行事予定】

☆笠岡小学校

- 3月20日(火) 卒業証書授与式
- 3月26日(月) 修了式
- 4月9日(火) 入学式

☆笠岡西中学校

- 3月13日(水) 卒業証書授与式
- 3月26日(火) 修了式
- 4月10日(水) 入学式

編集後記

3月6日は啓蟄(けいちつ)、春の足音もだんだん近づいています。ポカポカと暖かい日には、春を探しに出かけてみませんか。

I・M

かさおかの町「雛めぐり」

笠岡駅前の商店街一帯でお雛さまを飾っています。江戸時代の享保雛・古今雛・手作りの雛・つるし雛などいろいろな“お雛さま”を展示しています。ゆっくり散歩しながら雛めぐりをお楽しみください。期間は「2月15日(金)から3月3日(日)まで」



あかりをつけましょ
ぼんぼりに…
おはなをあげましょ
もものはな ♪♪